

連続立体交差事業の進捗にあわせたまちづくりの取り組みをまとめました

地域勉強会では、連続立体交差事業の構造形式の選定や連立事業の進展にあわせ進められるまちづくりについて地域課題や目的を共有しながら進めるため、平成28年から活動してきました。

その活動の成果として「連続立体交差事業を見据えた南武線沿線まちづくり」をまとめました。

「連続立体交差事業を見据えた南武線沿線まちづくり」の内容(抜粋)

■連続立体交差事業とあわせたまちづくりのイメージ

連続立体交差事業にあわせまちづくりを進めることで、これまで鉄道や踏切で分断されていた「まち」を一体的に整備することができます。

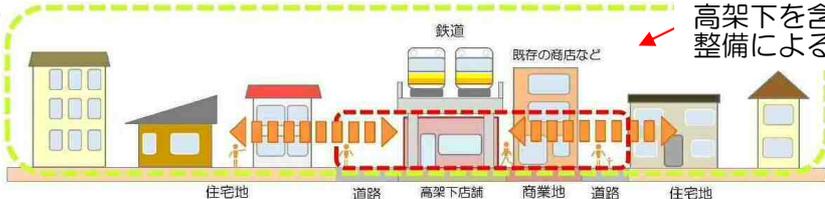
高架下に新たに生まれる空間を有効活用することで、人や車の往来による回遊性の向上だけでなく、店舗や公園等を整備することで、賑わいの創出や、やすらぎや交流の空間としての活用も期待できます。

現況 鉄道によりまちが分断されている



高架後 分断されていたまちに一体感が生まれる

<高架下を一体利用>



<高架下単独利用>



※ 高架下の活用例



公園・ポケットパークの整備



商業施設の整備



■地域コミュニティを醸成する取り組み

●公共空間の利活用による新たなコミュニティの創出

連続立体交差事業は完成まで長い時間を要することから、すぐにできる取り組みとして、駅周辺の公共空間を有効活用し、駅を訪れる人の「居場所」をつくることにより、駅周辺に賑わいと地域の新たな魅力の創出を目指します。

●まちづくりの担い手の育成

これまで地域におけるまちづくりの担い手であった町内会や商店街組織などを取り巻く状況が変化しており、まちづくりの担い手の育成や枠組づくりが必要になっています。

広場空間を利活用したまちの居場所づくりをはじめとして、地域の様々な主体が連携しながら、それぞれの得意分野や強みを持ち寄り、協力できる仕組みづくりが必要であるとともに、潜在的なまちづくりの担い手の発掘、育成を促していくことで、持続可能なまちづくりの推進を目指します。

(参考) エリアマネジメント組織 『鹿島田デイズ』の取り組み

(2018年10月設立)

① まちの拠点プロジェクト

新たなまちの拠点として鹿島田駅前に「つながる」をテーマにしたコワーキングカフェを整備。既に鹿島田地域のコミュニティ拠点として機能する「タウンカフェ新川崎」と連携し、新たな層をターゲットとして地域交流プログラムを展開。



鹿島田DAYS コワーキングカフェ

② ヒロバプロジェクト

鹿島田地域の主として屋外の広場空間について、官民それぞれの管理者と連携し、各広場の設置主旨を踏まえつつ、新たな広場活用の可能性を検証し、それを実践するための諸活動。

- 第1回 2018年11月19日～25日
- 第2回 2019年2月24日
- 第3回 2019年3月28日
- 第4回 2019年5月18日



川崎市管理地を活用した社会実験

(ヒロバプロジェクト：地域の子供たちに遊び場を提供)

③ スタートアップ支援プロジェクト

アイデアを持ち寄る会議を開催し、様々な市民活動のアイデアを集め、共有する中で、魅力的なアイデアを見出し、その初動を支援する取り組み。

アイデア会議の入場料が互選会議で選定された企画提案者へ寄附され、それを実行する仕組み。

2019年度の取り組み(予定)

- ・年間数回のヒロバプロジェクトの実施
- ・アディア会議の規模拡大
- ・地域の既存団体や企業・行政との連携ネットワークの形成
- ・まちの魅力発信

なお、「連続立体交差事業を見据えた南武線沿線まちづくり」の詳細については市HPから「南武線沿線まちづくり」で検索

～今後の地域勉強会について～

地域勉強会は、今回のまちづくりの取り組みの取りまとめをもって、定期的な開催を終了いたしました。なお、市は、今後、本内容を踏まえ、沿線のまちづくり方針や都市計画マスタープランの区別構想をまとめるとしています。

お問い合わせ

川崎市 川崎区 駅前本町 12-1 タワーリパークビル14F
川崎市 建設緑政局 道路河川整備部 道路整備課
TEL 044-200-3499



Vol.5 2019.5.31
JR南武線連続立体交差事業に関する
地域勉強会 事務局発行

南武連立

検索

ホームページはこちら